

令和6(2024)年度 県南環境森林事務所の概要

令和6年版



写真引用：関東地方整備局ホームページ (<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00081.html>) 加工して利用

写真：渡良瀬遊水地

目 次

I 事務所の概要

目次	1
1 概要	2
2 業務指針	3
3 組織及び業務分担	3

II 施策の概要

1 各課での取組

【環境企画課】

生物多様性の保全、傷病鳥獣の保護	4
野生鳥獣の保護管理と安全な狩猟	5
自然公園の整備	6

【環境対策課】

良好な生活環境の保全と循環型社会の形成	7
---------------------	---

【森づくり課】

多様で元気な環境の森づくり	9
---------------	---

【林業経営課】

林業・木材産業の成長産業化	11
フォトギャラリー	12
アクセス	13

I 事務所の概要

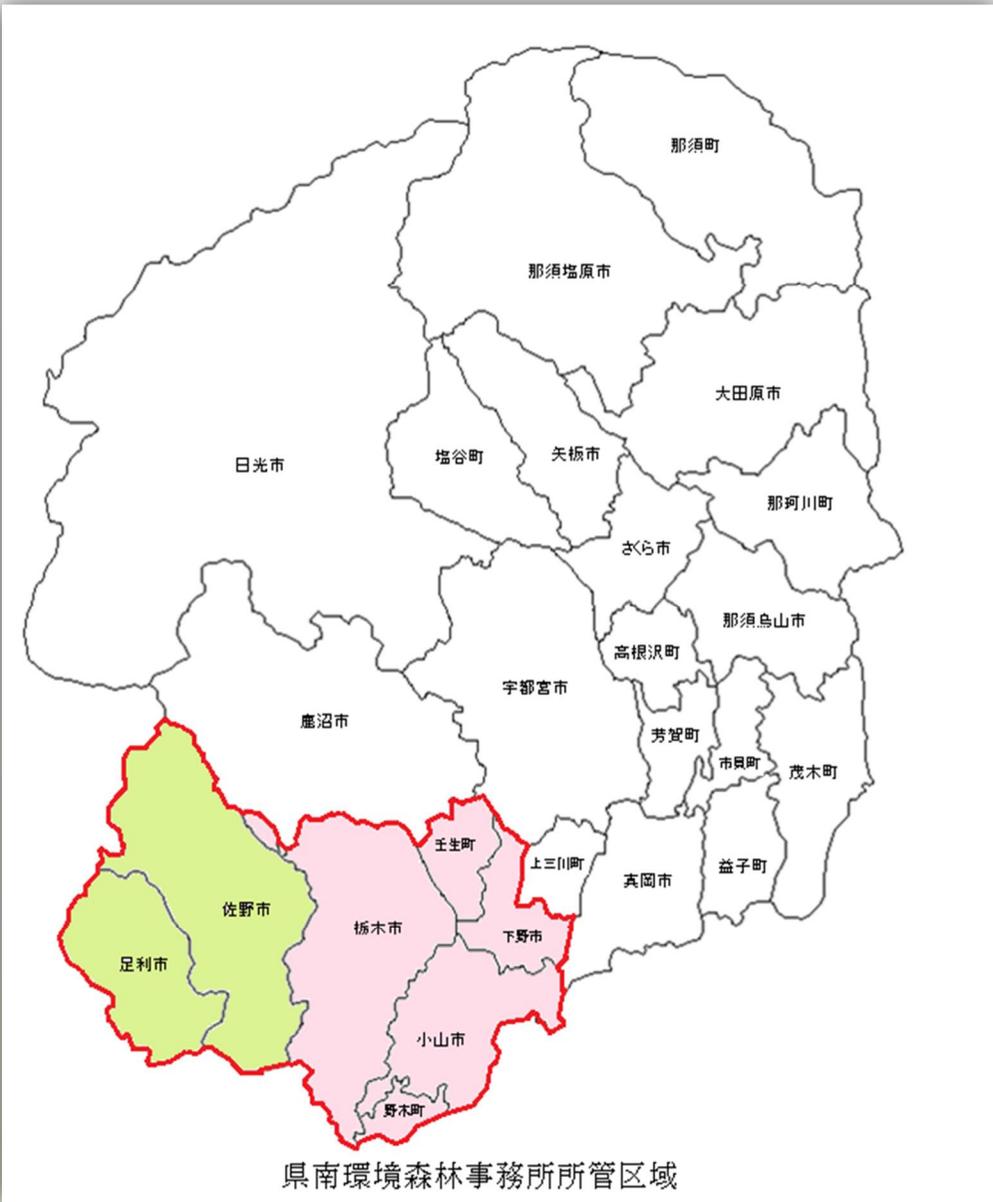
1 概要

当事務所は佐野市の安蘇庁舎内にあり、県の南西部の5市2町を所管しています。管内面積は約12万ヘクタール（県土面積の19%）で、人口は約70万人（県全体の37%）です。

管内の北西部は森林地帯が多く、その面積は約4万ヘクタールで、このうち民有林が96%を占めています。戦後、拡大造林が積極的に進められた結果、その52%がスギやヒノキなどの人工林となっており、人工林率の高い佐野市（61%）・栃木市（46%）・足利市（44%）を中心に県南林業地を形成しています。

管内の山岳部には3カ所の県立自然公園（足利、唐沢山、太平山）及び8カ所の自然環境保全地域が、平野部には3カ所の緑地環境保全地域が設定されています。

足利市・佐野市・小山市をはじめとした平野部の幹線道路沿いには市街地が形成され、多くの商業施設や企業・工場が立地しています。工業事業所は県全体の44%を占め、中小企業の多いことが特徴となっています。



2 業務指針

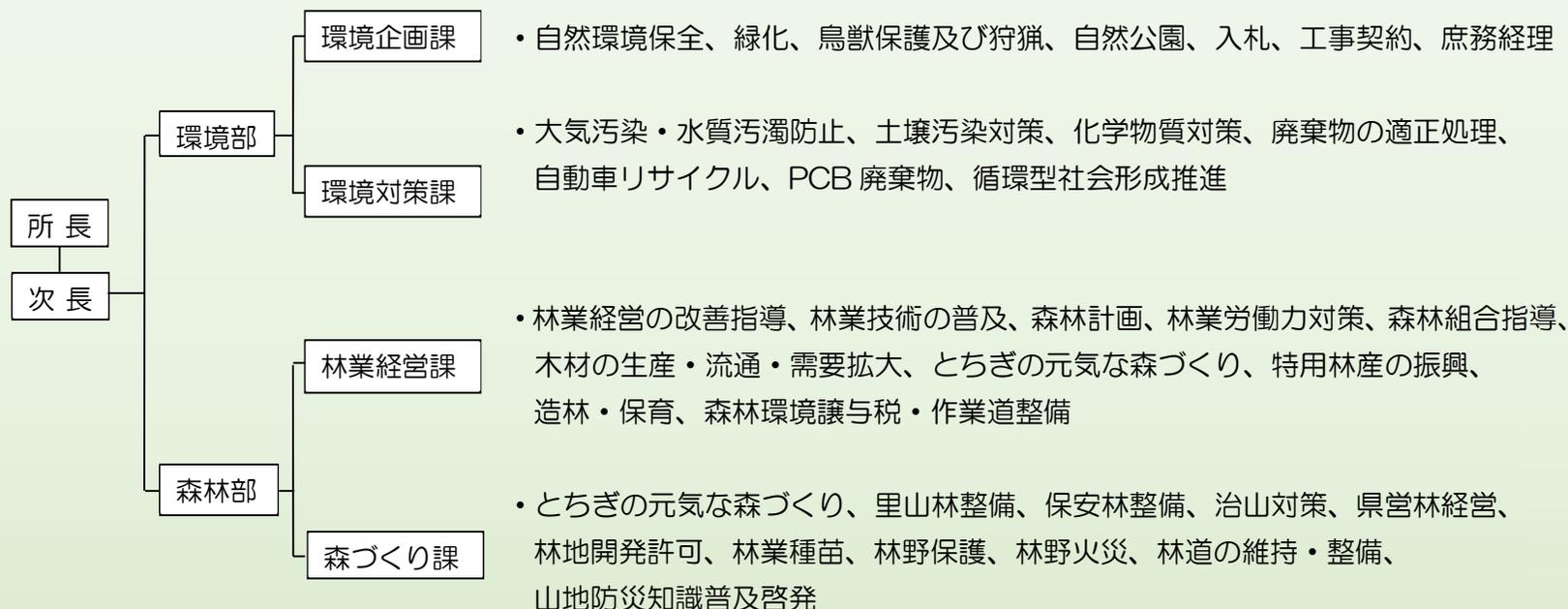
環境分野においては、2050年カーボンニュートラルの実現と気候変動への適応に向けた温室効果ガス排出削減対策等への取組や、資源循環型地域社会の実現に向けた廃棄物の適正処理、資源循環の着実な推進が求められています。

また、森林分野においては、林地荒廃防止や水源涵養など森林の公益的機能を維持しながら「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を図り、災害に強い健全な森づくりを進めるとともに、山村地域の雇用・所得の拡大及び定住化を図り、地域経済の活性化に寄与しながら、とちぎの元気な森を100年先の未来へ引き継いでいくことが求められています。

これらを背景として、当事務所では

- ◆ 資源循環型地域社会の実現に向けて、大気や水環境の汚染防止、廃棄物の適正処理対策等を推進し、地域環境の保全に努めます。
- ◆ 自然公園の適正な利用や生物多様性の保全、総合的な獣害対策により優れた自然環境の保全を図ります。
- ◆ 森林資源の循環利用促進と未来技術を活用したスマート林業の導入による林業・木材産業の成長産業化を推進します。
- ◆ 林地荒廃防止機能など公益的機能が発揮できる健全な森林をつくるため、森林資源の適切な管理、計画的な整備・保全を推進します。

3 組織及び業務分担



Ⅱ 施策の概要

1 各課での取組

【環境企画課】

生物多様性の保全

豊かな生物多様性を次の世代に引き継ぐため、自然環境を大切にする意識を高め、県民との協働により多様な生態系を維持します。

☆主な取組：自然環境保全地域、緑地環境保全地域の保全、クビアカツヤカミキリ等特定外来生物への対応



↑クビアカツヤカミキリの
防除の様子（下野市）



↑桜の名所でのクビアカツヤカミキリ
の調査（下野市）



←クビアカツヤカミキリ

傷病鳥獣の保護

ケガをした(ケガの原因が人によるものだった場合)野生の鳥獣の保護を行っています。

あくまでも野生鳥獣は自然の摂理に従い、むやみに手出しせず見守るのが基本となります。保護しきれない鳥獣もいるのが事実です。復帰の可能性がある鳥獣は、放鳥・放獣して生態系に手を加えないようにしています。

保護された
フクロウ



植樹会と苗木の配布会の様子（小山市）

野生鳥獣の保護管理と安全な狩猟

人と野生鳥獣との共存を維持するため鳥獣保護管理事業の推進を図り、農林業被害の軽減や豚熱感染拡大の防止に向けた総合的な鳥獣被害対策を推進するとともに、鳥獣の個体数調整に貢献する狩猟が安全に実施されるよう法令等の周知を行っています。

また、近年河川敷で生息を拡大し農業被害を与えているイノシシに対しては、令和元年から有害鳥獣河川敷緩衝帯整備事業等を実施。とちぎ獣害対策アドバイザー事業と連携し、地域ぐるみの鳥獣被害対策への支援を行っています。

☆主な取組：傷病鳥獣の救護及び鳥インフルエンザ・豚熱への対応

- ：狩猟免許試験等事務、適正で安全な狩猟の普及啓発
- ：新たな捕獲の担い手の確保・育成
- ：イノシシ等有害鳥獣捕獲への支援
- ：地域ぐるみの鳥獣被害対策への支援
- ：河川敷内イノシシ対策への支援



←特定猟具禁止区域の看板設置



有害鳥獣河川敷緩衝帯整備事業



自然公園の整備

県内には8箇所の自然公園があります。その中でも県南環境森林事務所が管理しているものは3つです。各公園内の安全確保や老朽化した箇所の復旧作業などを行い、管理に努めております。

- ①足利県立自然公園（足利市）
- ②唐沢山県立自然公園（佐野市）
- ③大平山県立自然公園（栃木市）



①足利県立自然公園（足利市）

👉ココに注目

→名草巨石群(名草弁天)として巨大で丸い岩が点在する場所があり自然の神秘が感じられます。また織姫山には季節の花が咲き、夜は夜景スポットとしても名高く、足利の夜景が展望もでき恋人の聖地としても知られる場所です。

（ 織姫神社ライトアップ ）



②唐沢山県立自然公園（佐野市）

👉ココに注目

→藤原秀郷が天慶 3 年 (940 年)頃に築城された唐沢城跡地が山頂で拝むことができます。また、唐沢山にはたくさんの猫がおり、参拝者に愛されたかわいい猫たちと自然に癒やされます。

（ 唐沢山の猫たち ）



③大平山県立自然公園（栃木市）

👉ココに注目

→4月は桜並木の桜峠に約 4,000 本のソメイヨシノ、5月は謙信平に一面のツツジ、6月に表参道(あじさい坂)に両側いっぱいのアジサイ、秋には山一体が紅葉に染まり四季折々の植物などが楽しめます。

（ あじさい坂 ）



良好な生活環境の保全と循環型社会の形成

【環境対策課】

公害発生の未然防止や廃棄物の適正処理を指導することにより、良好な生活環境を保全し、循環型社会の形成に努めています。

大気・水・土壌環境の保全

大気汚染防止法、水質汚濁防止法及び土壌汚染対策法等に基づき、工場・事業場に対し公害発生未然防止の指導を行っています。

また、異常水質事故（河川への油流出、魚類のへい死等）が発生した場合は、関係機関と連携して発生状況や発生原因の調査等を迅速に実施し、原因者に対し被害拡大防止等の措置を指導しています。



異常水質事故対応（事故車からの油流出）



工場・事業場への立入検査（水質検査）



解体工事現場への立入検査

〈主な取組〉

- ◆ 工場・事業場に対する立入検査
- ◆ 石綿含有事前調査報告等に基づく工事現場に対する立入検査
- ◆ 公害苦情の処理広報誌等による異常水質事故未然防止の啓発

廃棄物の適正処理の促進

廃棄物処理法及び栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づき、事業者や廃棄物処理業者等に対し産業廃棄物の適正処理の指導を行うとともに、資源循環の推進のため、廃棄物の再生利用に向けた事業者の育成を進めています。

また、不法投棄の監視に努め、不法投棄が判明したときは、事実関係を調査し関係機関と連携しながら行為者等に対し不法投棄物の撤去を指導しています。

〈主な取組〉

- ◆ 事業者や廃棄物処理業者等に対する立入検査
- ◆ 夜間休日監視、スカイパトロール、監視カメラ設置



不法投棄されたドラム缶
左上：撤去前
右下：撤去後（黄色部分）



リサイクル製品製造事業場への立入検査



廃棄物処理施設への立入検査

多様で元気な環境の森づくり

【森づくり課】

森林は木材も供給源であると共に、水や空気を育み、災害を防ぎ、安らぎを与えるなど、私たちの生活にとって大切な働きをしています。このような大切な森林を守り、育て、未来へつなぐため、治山事業をはじめとする様々な取り組みを実施することで、公益的機能を発揮できる「元気な森づくり」を推進しています。

〈主な取組〉：治山事業による荒廃森林の復旧、山地防災講習会の開催

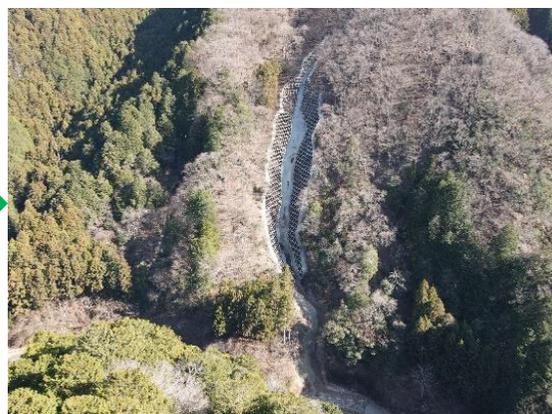
：保山林制度・林地開発許可制度の適正な運用

：ナラ枯れ被害木の駆除及び健全木の予防への支援

：山火事防止のための啓発ポスター等の配布・掲示、広報車による呼びかけ



被災時の山林のようす(佐野市)



復旧工事完了後(佐野市)

災害に強い森づくり

頻発化・激甚化する豪雨に備えるため防災・減災に向けた治山対策に取り組み、「災害に強い森づくり」を進めています。

左の画像は、佐野市の地蔵山の復旧状況。長年通行止めとなっていた「林道作原作入線」開通の大きな一歩となりました。

山地防災意識の普及啓発

毎年小学生を対象に、山地災害に対する意識を高めることを目的とした山地防災講習会を開催しています。

スライドでの説明だけでなく、模型実験も行っています。

今年度は栃木市の小学校で開催しました。



模型実験の様子



パワーポイントで説明

ナラ枯れ被害対策

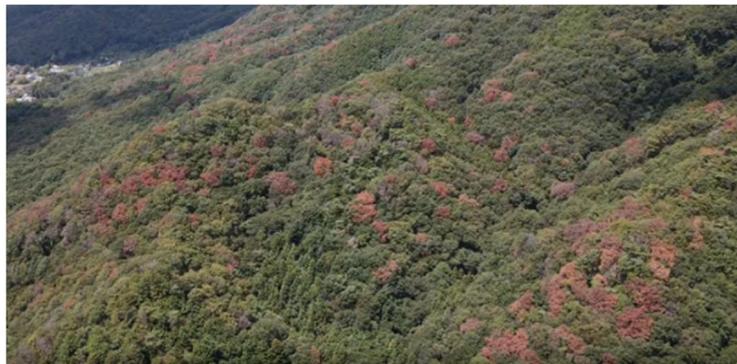
ナラ枯れ被害の拡大防止のため、市町と協力しながら早期発見・駆除による被害拡大防止を図りつつ、健全木の予防及び枯死木の倒木等の危険回避のための伐倒駆除を実施しています。なお、ナラ枯れの枯死木の付近にはカエンタケ(猛毒)のきのこが発生することがあります。さわると皮膚の炎症、食べると死亡例もある危険なきのこです。



カシノナガキクイムシ(左下)が穿孔したナラ枯れ被害木



根元に生えたカエンタケ(栃木市)



ドローンによる被害地の把握(栃木市)



被害木の伐採(栃木市)

山火事防止のための普及啓発 山火事被害が多くなる時期(1月～5月)を中心に、山火事ポスターの配布・掲示やポケットティッシュ配布等を通し、山火事予防の意識を高めるための普及啓発を行っています。



山火事防止ポスター



山火事防止に係る普及啓発
ポケットティッシュの配布(足利市)



山火事の現場(佐野市)

林業・木材産業の成長産業化

【林業経営課】



GNSS 測量(アウル)の研修(佐野市)

素材生産力の強化

高性能林業機械・新技術の導入による生産効率の向上に繋がる支援をしています。



高性能林業機械による伐採(足利市)



木材加工工場(栃木市)

県産材の安定供給と需要拡大

林業・木材産業の連携を進め、県産材を活用した家づくりを支援するとともに、中・大規模建築物への木材利用を促進し、新たな需要創出に取り組んでいます。



中規模施設の木造化(佐野市)



シカ剥ぎ防止チューブ(佐野市)



クマ剥ぎ防止ネット巻き(佐野市)

獣害対策の促進

健全な森林を育成するために、野生鳥獣による被害を防ぐ対策として様々な支援をしています。



原木しいたけホダ場(佐野市)



菌床しいたけ施設(野木町)

安全・安心な特用林産物の生産振興

生産技術の向上、原木林の再生、定期的な検査による放射能対策をしています。

県南環境森林事務所 フォトギャラリー



名草巨石群（足利市）



苗木生産の現場（壬生町）



渡良瀬遊水地ヨシ焼き（栃木市）



ひまわり畑（野木町）



奥山からの風景・伐採（佐野市）

アクセス・所在地



栃木県県南環境森林事務所

〒327-8503

栃木県佐野市堀米町 607 栃木県庁安蘇庁舎内2階

TEL 0283-23-1441 (代表)

FAX 0283-22-5113

E-mail kennan-ksj@pref.tochigi.lg.jp

令和6年3月作成